



部長通信

第 4 号

2018 年 12 月発行

主 題 ワイズ総活躍中部

2018-2019 中部部長 柴田洋治郎

(名古屋東海クラブ)

活動方針

1. EMCに注力すると同時に各クラブの実情に合わせた、個性あるクラブ作りを目指す。
2. ワイズメンズクラブの目的は、第一にYMCAへの奉仕であり、引き続きYMCAとの協働を深化させる。
3. 名古屋、三重、石川、(富山)各クラブ間の連携強化。

12月の西日本区強調月間 EMC-EYES

EMC 事業主任 小野 勅紘(西宮)

「Y's Men's Window 100 (→2022)

2022年のワイズ100周年までに、全ての部においてエクステンションに挑戦して、100クラブ+2022名を実現しましょう！(E) YES 献金はエクステンションを支援するためのものです。(YES)」

他地区の部会に参加して

第3号に続きこの稿では中部部会後に開催された、瀬戸山陰部、びわこ部部会に参加して、気づいた点、感じたことを述べたいと思う。

瀬戸山陰部部会は中部部会の翌日と翌々日、姫路の塩田温泉において一泊二日の日程で、姫路グローバルクラブ設立25周年記念行事と同時開催された。当部会の内容はこれまでの部会とは趣を異にし、案内パンフでは、さよなら(?)部会と題されており、5クラブ会員数46人の限界的且つ広域をカバーする部として、以前より運営が困難と役員会等でも発表されていた。そこで以前より、隣接する六甲部への編入協議が進められてきたが結果は不調に終わった経緯がある。瀬戸山陰部がこのような問題提起をしたことは、中部にとっても他人事とは思われない。会員数10名未満のクラブが過半数かつ金沢と名古屋は特急で片道3時間と距離的ギャップも大きい。中部だけでなく他の部でも同様の問題を抱えている所もあると聞く。高齢化や大都市と地方の地域間格差等是否応なく、我々ワイズの組織にも直撃している。この問題を解決するには我々も相当の覚悟をもって臨まないと不可能と思われる。

一方、この瀬戸山陰部部会では良い経験ができた。一泊につき、私はじめ、大阪、京都のクラブの部長経験者5名が畳敷きの同室で寝起きし、夜遅くまで、お互い忌憚のない意見を交わした。ワイズのことでは、責任ある真摯な意見が聞け、見習うべき点が多かった。プライベートな話でも盛り上がり、親交を深めることができた。

最後の部会である、びわこ部は中部とほぼ同規模の部であるが、130名超の参加者

があり、部会主催者によれば予想以上の成果とのこと。又、橋川草津市長も来賓として駆けつけ、同部の地域での存在感を示していたし、次期理事輩出部として、力が入っていたように思われた。

さて、最後に我が中部部会についてだが、この評価は当日参加者等の第三者に任せるとして、当然、部長として準備段階から会が終了するまで相当の緊張感を強いられた。果たして、閉会の辞を述べた後、参加者から「ご苦労さん、有難う」の言葉を頂いたときは、この会を応援してくれ、遠くからも駆けつけてくれたワイズの仲間や長期間準備で共に苦労してきた東海ワイズの実行委員会のメンバーに感謝の気持ちでいっぱいになったと同時に若干虚脱感にも見舞われた。

2部の講演において中部部会の目玉として、愛知万博に関する講演を中村利雄2005年愛知万博事務総長にお願いした。同氏とは名古屋東海ワイズの池野会長と私の知り合いでもある。この講演を選んだ理由は、愛知万博開催時には名古屋市民や近在の人々は、一度は足を運んだことのある思いで深い出来事であることや、この万博のテーマは「自然の叡智」であり、持続可能な社会を築くための、将来を先取りする各種の新しい手法が試みられたこと、更に博覧会運営に当たってはボランティア、NGOが大きな役割を果たしたことからワイズやYMCAのミッションに合致していると考えたからである。加えて、大阪が2025年の万博開催地に立候補しており、11月23日には開催地が決定されることで、特に関西地区のワイズにはタイムリーな話題提供になるのではないかと思ったからである（この稿を書いている最中に目出度く大阪が開催地に決定した）。

部会実行委員会を進める中で各地の部会をみてきた私にとって、この部会は他に比し、地味すぎるのではないかと考えたが、これはこれで中部らしさにもつながるとして実行していった。しかし、親睦の会における新入会員の紹介や、とやまクラブ発足の発表コーナーはじめ、様々な工夫もあり、相応の盛り上がりを見せ、参加者の方々にも喜んでいただけたのではないかと思った。

私の考えでは、部会は各部の一大イベントであるが、華やかさや賑々しさを競い合うものではなく、元来、個々のワイズやクラブが日頃の成果や将来の目標を表明する場であるべきと思う。この点、この部会が満足できるものであったか疑問がまだ残っている。

